

平成30年度当初予算
部局別要求方針

北部振興局

部局別予算要求方針

1 30年度予算要求にあたっての基本的な考え方(予算編成方針を踏まえて)

平成30年度の予算編成の基本的考え方に示された、『総合計画』に掲げる計画目標達成のための効果的な取組が必要であり、今年度の局方針である「未来志向で5年後への仕掛け」の取組みを続ける。

基本計画の“長浜まるごと「未来のシカケ」プロジェクト”に位置付けられている「市北部地域の活性化」の実現に向け、北部地域の地域資源の保全や活用による、集客交流機会を創出します。

あわせて「活気に満ちた地域づくり」を進めることで地域活力を復活させ、地域の将来を担う人材の育成につなげ、地域からの積極的な地域振興を推進します。

また、丹生ダム建設事業中止による影響を最小限にとどめ、地域整備とともに、地域との協働により自主性を醸成できる地域づくりを図ります。

2 予算要求の重点事項(新年度の取組目標、新規施策等)

(優先すべき事業)

- ・長浜市北部地域の魅力発信事業
- ・びわ湖のてっぺんプロジェクト事業
- ・木之本宿まちなか再生事業
- ・丹生ダム対策事業および過疎地域振興事業
- ・地域おこし協力隊事業

(事業の必要性)

- ・北部地域の魅力をブラッシュアップし、情報発信することで、地域に元気を取り戻し交流人口・定住の増加を図るため。
- ・西浅井地域において住民との協働により地域の魅力を再発見し、磨き上げ、地域内外への魅力発信することにより、移住定住や地域の活性化を図るため。
- ・木之本地域を中心とした空き家対策に一定の成果が上がっており、今後も、移住定住の窓口として成果が期待できるため。
- ・丹生ダム建設事業の中止に伴う地域整備の推進を図るため。
- ・地域おこし協力隊の新たな募集に伴い、地域活力の向上への寄与と移住定住促進を図るため。

3 事務事業の再構築(事務事業の検証・見直し、選択と集中の結果)

- ・事務事業については、従前どおり効率化と簡素化を計ることで、経常経費の削減に努め、また、恋人の聖地プロジェクトを核とする「景観を活かしたまちづくり事業」を、より多くの市民参加型事業として、「びわ湖のてっぺんプロジェクト事業」へ拡充を行なう。
- ・過去3年間の地域おこし協力隊員の活躍と成果を評価する中で、いまだに残る課題解決や将来的定住による活躍を求め、地域おこし協力隊を地域に再配置する。
- ・ダム建設事業の中止に伴う地域整備について、国県等の支援を取り込み事業の推進を行なう。